令和3年度　芸術

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
芸術	美術Ⅰ	選択	1＋1	第1年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	高校生の美術1（日文）
②	自作教材	プリント教材
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯を通じて美術を愛好する心情を育てる。美術に関する様々な知識や技能を身につけることで視野を広げる。創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、感性を高める。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

デッサン力、構成力、色彩感覚や造形力など、様々な芸術表現の手段を身につけ、いきいきと発想し表現することを楽しむ。学びや成長、日々の中で、個人に生まれた思いやアイデアを瑞々しい感性で形にしていく。努力を惜しまずに粘り強く集中して取り組むこと。

特記事項

必履修科目。「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」または「書道Ⅰ」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	美術への関心・意欲・態度	美術の幅広い表現方法を知り、創造の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現活動に取り組もうとする。	課題提出状況及び授業参加態度
B	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題の生成に取り組み、発想力を高め、またそれを表現するために深く構想を練っている。	課題提出状況及び授業参加態度
C	創造的な技能	よさや美しさを創造し表現するために必要な技能を身につけ、それらを効果的に活用して粘り強く創作に取り組んでいる。	課題提出状況及び授業参加態度
D	鑑賞の能力	様々な美術や文化についての理解を幅広く深め、そのよさや美しさを味わい、視野を広げ、感性を高める。	課題提出状況及び授業参加態度
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	4月・5月	① ②	平面	12	鉛筆デッサンなど 描写基礎演習、油絵具入門 クロッキー （すべてACD）	A C D	道具の扱い方や使用方法を身につける。(AC) 描写に関する基礎知識と技法を学び、身につける。(AC) 学んだ知識や技能を、課題作品の制作で応用する力を身につける。(AC) デッサンで観察力や粘り強く取り組む姿勢を身につける。人物クロッキーでは回数を重ね、すばやく対象を捉える力を身につける。(ACD)	プリント演習 鉛筆デッサン 相互モデルによる人物クロッキー	課題(プリント・作品) 計画性 授業態度	5 4 3 2 1
前期	6月・7月	① ②	平面	12	油彩基礎 （色彩の基礎と画材の扱いを知る） クロッキー （すべてACD）	A C D	道具の扱い方や使用方法を身につける。(AC) 色彩に関する基礎知識を学び、実技にその知識を応用する力をつける。(AC) 画面構成や光の方向による陰影のつけ方、マチエールの効果などを自ら考え、創作に活かす。 自らの経験から主題を生成し、表現する。(AC) 人物クロッキーでは回数を重ね、すばやく対象を捉える力を身につける。(ACD)	油彩抽象作品制作 プリント演習 相互モデルによる人物クロッキー	課題（プリント・作品） 計画性 制作態度 授業態度	5 4 3 2 1
前期	8月・9月	① ②	平面・鑑賞	12	平面構成課題 鑑賞 クロッキー （すべてACD）	A C D	構成やデザインの技能や知識を身につける。(AC) 人物クロッキーでは回数を重ね、すばやく対象を捉える力を身につける。(AC) 高校展やその他の展覧会、または映像や画像資料を鑑賞して鑑賞レポートを作成することができる。(AD)	平面構成課題 プリント演習 鑑賞レポート制作	課題（プリント・作品） 計画性 制作態度	5 4 3 2 1
後期	10月・11月前半	① ②	平面	12	デッサン(ACD)	A C D	デッサンを通して、基礎で身につけた鉛筆描写の力を応用する。形や量感を捉える力、丁寧に質感を表現する力、光と影の表現など、粘り強く目標を高く持って制作に挑む。(ACD) 人物クロッキーでは回数を重ね、すばやく対象を捉える力を身につける。(ACD)	デッサン 相互モデルによる人物クロッキー	課題（プリント・作品） 制作態度 計画性	5 4 3 2 1
後期	11月後半・12月	① ②	平面	12	油彩応用制作 (ABC)	A B C	前期に培った油彩の技能を生かし、応用作品制作に取組む。描写力・画材の扱い・色彩の扱い・構図や光の表現のほか、自分らしさを表現する方法を模索し作品に生かすことができる。(ABC)	油彩具象作品制作 プリント演習	課題（プリント・作品） 制作態度 計画性	5 4 3 2 1
後期	1月・2月	① ②	平面・鑑賞	12	平面作品制作 (ABC) 相互作品観賞(D)	A B C D	いきいきとした創造性と、完成イメージを持って粘り強く取り組む姿勢を身につける。(ABC) 安全に留意して道具を適切に扱い、制作を進めることができる。(ABC) 相互鑑賞では、具体的な表現を心がけ、自らの思いや考えを文章で表すことができる。(D)	平面作品制作 相互作品鑑賞・レポート制作	課題（プリント・作品） 制作態度 計画性	5 4 3 2 1